

2020/1/10~1/31

NEW ZEALAND・学生企画型 海外インターンシップ実習



海事科学部3年

4Qの後半に、3週間ニュージーランドで環境保護ボランティアに参加してきました。私が参加したのはCONSERVATION VOLUNTEER NEW ZEALANDという団体で、主に固有種の動植物の保護や自然公園の環境保護活動などを行っていて、1年間に70万本の木を植林した実績があります。



Wellington (ウェリントン)

最初の1週間はNZの首都であるウェリントンで活動を行いました。主な活動としては、海岸や川沿いで外来植物の駆除や園芸施設で固有種の苗木の植え替え等を行いました。どの作業もとても地道でしたが、地元の方も多く参加されていて、お話ししながらできたので時間が経つのがあっという間でした。中には、オーストラリアの森林火災のニュースに影響を受けて環境保護活動に取り組み始めた方もおり、NZの人々は環境問題に対する意識がとても高いことが分かりました。

周りには羊がいっぱい！



レストランで食べたハンバーガー(ボリューム満点！)



固有種のカヌカ



Auckland (オークランド)

次の2週間はNZ最大都市のオークランド近郊にあるAtiu Creek Regional Parkという自然公園に滞在しました。843ヘクタール(東京ドーム約180個分)ととても広いため、周りには家などがなく、羊と牛がたくさんいる大自然の中で作業しました。ここでは、マヌカやカヌカと呼ばれるNZ固有種の植物の苗木をポットに植えて、さらに成長させることができるようにしました。2週間を通して、計5600本もの苗木を植え替えることができ、作業が終わった時には大きな達成感を得ることが出来ました。



ボランティア活動！



ボランティア同士で晩ご飯！

成果

このプログラムに参加する前は、特に植物についての関心はあまりなく、環境問題についても深く考えることはなかったが、ボランティア活動を通して地道に植物とふれあううちに、植物は人間だけでなく、動物の生態系において大変重要な役割を果たしていることが分かりました。さらに、多国籍のボランティアメンバーと活動をともしるときは、積極的に英語で話しかけるよう心がけたことで、外国からみた日本の印象や異文化を知ることができました。



固有種の鳥もたくさん！

質問コーナー

1日のスケジュールはどんな感じ？

午前は朝9時頃から作業を始めて、昼過ぎ頃に自分たちで作った昼ご飯を食べてから、午後4時くらいまでですよ。夜ご飯はボランティア同士で自分たちの国の料理を作って紹介したりしたよ。自分はお好み焼きやチャーハンを作って、喜ばれた！その後は、映画見たり、ゲームで遊んだりしたかな。

一番大変だったことは？

外来植物の駆除は中腰で行うことが多くて、さらに山の中だから、足場の悪いところも多く歩きにくかった。

他のボランティアの国籍は？
英語は大丈夫だった？

韓国やヨーロッパ(ドイツ、フランス)、地元出身の大学生などと一緒に活動したよ。自分は英語はあまり得意ではないけど、伝えようとする姿勢さえあれば、理解してくれた。